

すまいるNEWS

2025夏号

フクダハウジング株式会社
新潟県新潟市中央区蘭新3丁目2番4号
フリーダイヤル：0120-974-699

社長メッセージ センスは情報、センスは生き方



先日、特集テーマに魅かれて住宅雑誌を二冊買ってしまいました。表紙の大文字は『フランス人に学ぶ、センスアップの秘訣！』『センスのいい家具に囲まれて暮らす』、どちらもセンスアップの特集です。近頃は、このようにセンスをテーマにした婦人雑誌も多く見かけるようになりましたが、残念ながら読んだだけでは身につかないのがセンス、分かったようでわからないのがセンス、です。

では、センスとはいって何なのでしょうか。マーケティング専門家の小阪裕司氏によれば「感性（センス）は情報量に比例することが、最近の感性工学の研究でわかっている」とのこと。また、ベストセラー『センスは知識から始まる』の著者、水野学氏は、「センスとはまず普通を知ることから始まる」と書いています。二人に共通するのは、センスとは生まれ持った特別な才能ではなく、知識や情報量の集積によって磨かれるものだという考え方です。

実は、私も薄々気づいていました。それで雑誌やSNSから情報をを集め、話題の商品や人気サービスをいろいろ試してきたわけですが、結果として自らがどんなふうに変わっているかというと、現実はセンスアップどころか、むしろ真逆の方向に突き進んでいるような感覚さえあります。

それはなぜかというと、上記のようにセンスアップを目指して情報を集めると、もっと素晴らしい（？）モノやヒトに



2025夏号

フクダハウジング株式会社
新潟県新潟市中央区蘭新3丁目2番4号
フリーダイヤル：0120-974-699

出会ってしまい、当然私は欲しくなるので家の中にいろんなものが増えてきます。すると従来使っていたものが急にダサく思えてきて、「それを使っているうちは私のセンスは良くならない」「でももったいない捨てられないし、捨てるのは地球環境に良くない」。私は常にこうした葛藤に苛まれ、家の中に多くのものとストレスを溜め続けてきました。

そんなことで、今回の原稿テーマは当初「センスアップはストレス!!」に決めて、一か月前くらいから私の周りにいる素敵な人（センスのいい人？）たちにはどんな共通点があるかを観察してきました。

すると、ほぼ全員に共通しているのは、「好きなもの・必要なものに囲まれた生活をしているけれども、決して流行りものやブランド品にこだわっているわけではない」ということでした。しかも一部の人は、修理した車とか、修理した靴とか、ペンキを塗りなおした家具とか、古いものにも愛情を注ぎながら独特の雰囲気を醸し出しています。そんな生き方が少しも下品に見えないどころか、むしろカッコいいと表現したくなるほどなのです。

このことは、センスという言葉の正体が、ブランド品やトレンド品といった流行りのものの情報を追いかけることで身につくものではないという教えを含んでいるのかもしれません。改めて、センスとは何かと考えたとき、その人が発する言葉、生活スタイル、ファッショントレンド、教養、選択基準も含めた「生き方そのもの」だと気づかされた機会となりました。

代表取締役社長 木津 広美

【モデルハウスをお譲りします】オーナー様募集中！

フクダハウジングでは、現在2棟のモデルハウスのオーナー様を募集しております。

1棟目は、2024年10月に完成した「小新モデルハウス」です。コンセプトは「五感を満たす心地よい住まい」。特別な出来事がなくても、日常の中にある幸せを感じられる。そんな住まいをカタチにしたモデルハウスです。

使いやすさにこだわった間取りはもちろん、造作キッチンや木製窓、照明、吹き抜けなど五感を満たす工夫を随所に散りばめた室内は、こだわりがたくさん詰まっています。

2棟目は、2025年4月に完成した「小張木モデルハウス」です。「家づくりを、もっと楽しく」がテーマの、定額制注文住宅「ease+」仕様の住まいです。

室内は、木目+ホワイトで統一したシンプルな美しさが際立ちます。注文住宅でご要望の多い洗面タイルやキッチンの木目、リビングの合板張り天井など、素材感のあるアイテムを取り入れた空間に仕上げました。

2棟ともいつでもご見学可能です。当物件の購入や家づくりを検討している方がいらっしゃったら、ぜひご紹介ください！



▲小新モデルハウス



▲小張木モデルハウス

祝 おかげさまで、53周年！

フクダハウジングは、2025年6月10日に創立53周年を迎えました。皆さまへの感謝の気持ちを込めて、6月14日（土）、15日（日）に「創業大感謝祭」を開催させていただきました。2日間でたくさんのお客様にご来場いただき、大盛況につきイベントを終えることができました。ご来場いただいた皆さま、大変ありがとうございました。フクダハウジングは、これからも地域の皆さまの暮らしに寄り添った企業として、さらに成長できるよう取り組んでまいります。



一級建築士
こまざわ ともこ
駒澤 朋子

マンションリノベ モデルルーム完成！

春号でもお伝えした通り、買い取り再販事業として、今年からマンションリノベプロジェクトを開始しました。そしてついに、マンション「コープ野村万代」に第1号となるモデルルームが完成しました！

『好きなものだけに囲まれたミニマムな暮らし』をコンセプトに、家で過ごす時間が好きになる工夫・暮らし方をご提案します。マンションは、どの部屋も基本的には同じ間取り、同じ内装、同じような動線です。住まいに合わせた暮らし方も良いですが、私たちは暮らしに合わせたベストな住まいを考えました。



▲Before

▲After

一室をすべて解体して、まっさらな状態に。3LDKからOLDKとし、動線や収納、照明計画、家具など細部にいたるまでとことんこだわりました。モデルルームは、2025年11月末までの期間限定で公開中です。マンションリノベにご興味がある方は、ぜひ一度ご見学ください！

防災意識を高める夏

先日、住友ゴム工業株式会社様の起震車（地震体験車）に来ていただき、社員みんなで実際に乗って地震の揺れを体験しました。体験した揺れは、震度5弱、5強、新潟でも大きな被害を受けた昨年の能登半島沖地震の揺れ（震度7）、そして南海トラフ地震で想定されている揺れの4種類。体験したスタッフは、「机にしがみつくのが精いっぱい！」と語っていました。今回は起震車で、椅子に座った状態

で、目の前にしがみつける机があるというシチュエーションでしたが、地震が起きた時に揺られるものや身の安全を確保できる環境があるとは限りません。だからこそ、住まいづくりをする会社として、地震が来ても安心な家を建ててお客様を守ることはもちろん、家具を固定する等、日頃から防災に備えることの大切さを再認識しました。



▲起震車体験の様子

＼夏の暮らしを／ “ちょっとおしゃれに”心地よく

気づけば1年の半分が過ぎ去り、暑い夏の季節がもうやってきました。
子どもたちと外遊びも満喫したいのですが、熱中症も心配。

おうちには快適に心地よく過ごしたいものです。

「おしゃれで実践しやすく、季節感のある」夏の暮らしを
気持ちよくするインテリア&過ごし方アイデアをまとめました♪

家の空間を気持ちよくする6つのアイデア

1.リネン素材で風通しのいい部屋に

- ・クッションカバーやカーテンをリネンやコットン素材にチェンジ
- ・ナチュラルな風合いが、空間に「抜け感」と涼しさを与えてくれます。

生成りや淡いブルーなど、自然色で統一すると夏らしい◎

2.グリーンの力で空間に“涼”をプラス

- ・観葉植物を置くだけで、視覚的に涼しく&癒し空間に。
- ・置くだけでおしゃれな「ウンベラータ」「モンステラ（ズボラな私でも育てやすい）」などが人気。

テーブルやキッチンカウンターに小さなガラスの一輪挿しもオススメ

3.アロマ&フレグランスマストで五感を整える

- ・柑橘系（レモングラス、グレープフルーツなど）やミント系の香りで爽やかに
- ・玄関・トイレ・寝室にスプレーして「香りのゾーニング」も◎

4.ラタンやバンブー素材の収納グッズで夏仕様に

- ・ラタン（籐）やシーグラス素材のバスケットは置くだけでも夏らしいインテリアに。
- ・タオルやおもちゃ収納、リビングの小物整理にも◎

5.テーブルウェアも夏仕様に衣替え

- ・透明ガラスの器や涼しげな藍色の豆皿などを使うと食卓も夏らしく。
- ・コースターを竹製や麻素材に見えるのも◎

6.照明で“影と光”を楽しむ

- ・ほんのり灯る間接照明（フロアランプやスタンドライト）を夜に活用。
- ・白熱灯→電球色LEDにするだけで、あたたかく優しい空間に。

暑い夏も、ほんの少しの工夫で「おうち時間」がもっと心地よく、好きになるといいですね。ご家族の時間も、自分だけの時間も、もっと豊かに過ごせますように。



夏の暮らしを

“ちょっとおしゃれに”

心地よく

連載コラム
Vol.10

わたしの家づくり

－弊社スタッフの家づくり、いろいろ聞いてみました。vol.10－

お久しぶりの連載コラム「わたしの家づくり」。弊社スタッフが実際に建てた家をご紹介いたします！今回は、建築部建設課の岩瀬宅です。

一級建築士



いわせ きよと
岩瀬 清人

岩瀬家は、愛する息子を合わせた3人家族です。子どもが大きくなってきてアパートが手狭に感じてきたため、家を建てることにしました。

間取りは自分で設計し、延床30坪と縛りを付けて、動線にこだわりました。仕様は標準仕様がコスト的にメリットがあることも分かった中で、家族にヒアリングして、予算内でできることを取捨選択していました。コスト管理は、現在行っている業務経験が活きたと思います！

帰宅動線

シューズクローゼット→洗面→脱衣
とつながっています。子どもが帰ってきたらシューズクローゼットの棚に荷物を片付け、手洗い、汚れていたらリビングを通らずにお風呂へ行ける動線としました。



買物動線

玄関→パンtry→キッチンとつながります。共働きで週末にまとめて買い物するため、帰宅後すぐにパンtryに荷物を置いて便利！重い荷物を運ぶ必要がありません。



洗濯動線

衣類乾燥機「乾太くん」とランドリースペースを完備した脱衣室。洗濯をしたら干す、または乾燥機に入れて、ファミクロにすぐ片づけられます！



外観デザイン

窓がない外観が特徴的。玄関は道路側から見えないように横入りに。人工芝は時間をかけて自分で敷きました！



▲制作したプレゼンボードと模型



▲コンペの様子



▲1/10模型



回遊動線

階段を中心、玄関ホール→脱衣室→ファミクロ→リビングと回れるコンパクトな回遊動線になっています。行き止まりがないので、ストレスなく快適に暮らせます！



フクダハウジング株式会社
〒951-8141 新潟市中央区関新3丁目2番4号

いいね！やフォローお待ちしております！



お気軽にお問い合わせください
0120-974-699

私の日常

Vol.16

わたしの日常

スタッフの休日や趣味のことなど、徒然なるままに。

パーソナルな部分をちょっとご紹介します。あの人の意外な一面が垣間見られるかも?! 第16回目は、建築部建設課に配属となった新入社員の木村です。



今年4月に入社しました建築部建設課の木村と申します。今回は、私が昨年度、大学で取り組んだ「卒業設計」についてお話をさせていただきます。

大学と聞くと「卒業論文」をイメージするかもしれません。私は大学4年次に「卒業論文」に代わって「卒業設計」に取り組んでいました。卒業設計とは、卒業論文と同じように、これまで学んできたことの集大成として、自分でテーマや課題を探し出し、オリジナリティのある提案、設計を行うというものです。

私は、「みちくさはしら-街歩きを誘発する578本の電柱-」というタイトルで提案を行いました。簡単な内容として、道にたくさん設置されている電柱一本一本に“道草”的なきっかけとなる機能を付加し、街に散らばらせるというものです。電線を架けるだけの電柱に新たな価値を付け、街が人で賑わってほしい！という思いから、地元三条市において578本の電柱を調査、デザインしていました。

制作後は、大学内の発表に留まらず、学外のコンペにも参加するなど、非常に熱が入っていました。大学に泊まり込んで制作に励み、同期皆と一緒に大学でシェアハウスをしているかのようでした。当時は大変な思いでいっぱいでしたが、今では皆で切磋琢磨して過ごした日々が良い思い出となっています！



▲制作したプレゼンボードと模型



▲コンペの様子



▲1/10模型

編集後記

すまいるNEWS夏号をお読みいただき、ありがとうございました。暑い日々が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？夏が苦手な私は、すでに体がグッタリ…。食欲も落ちて体力・気力ともに失われていく感覚

があります。夏が年々長くなっている気がして、どこか涼しくて過ごしやすい国に行きたいなあと思ってしまいます。10月にフランスに行く予定なので、この旅行を楽しみに暑い夏をなんとか乗り切ろうと思います。

佐藤 愛